

各会の近況報告

◎ 船山1479.4m 二等三角点 2.5万図 位山(700回記念)

山行日 2018年11月18日(日) 天候 晴れ時々曇り

参加者 48名(女性31名 男性17名) みのハイキングクラブ

コースタイム

関市役所P6:30=孝子ヶ池公園(トイレ休)=久々野防災ダム湖(あららぎ湖)P9:00~9:10・・・船山山頂11:00~11:25・・・展望台11:30(昼食)~12:45・・・船山山頂12:50・・・船木花木園遊歩道を散策・・・久々野防災ダム湖15:10~15:20・・・(温泉、車単位で自由)・・・関市役所P18:00

感想・雑記

紅葉の名残を少々感じながら登山口へ。静かなあららぎ湖が迎えてくれた。

登山道で目につくのは、丸木橋。劣化した橋で隙間あり、ぐらぐらして滑りやすい。GLが何度も振り返って安全確認の声かけがあった。ゆっくり歩き、周りをよく見ながら歩いた。落葉木の隙間から位山の山容が見える。丸木橋を10カ所以上過ぎ、檜の森を抜け、苔むした自然林の登山道を広葉樹や針葉樹の落ち葉を踏みながら歩いた。

山頂部は高山方面への電波通信施設が乱立していた。山頂の東側の巨石には舟山神社の社殿があった。この神社は麓の無数河の人々にとって雨乞の神様。江戸時代以前は田に引く水路も泥水が多く水温が低く稔りが悪いうえ、雨が降らないと飢饉になった。つまり、切実な願いの基に築かれた神社である。

その先にはアルプスを望む展望台があった。御嶽山、乗鞍岳、西穂高、奥穂高、北穂高、南岳、中岳、大喰岳、槍ヶ岳、笠ヶ岳、三俣蓮華、黒部五郎岳、水晶岳、十石山・・・とみんなの声が聞こえてきた。

夢中になっているみんなにCLが呼びかけ、セレモニーが始まった。若くて元気のいい2人の司会者が進行役。最初は創立者のSさんの挨拶。「今から23年前の1995年、1回目の結成記念山行以来のメンバーが今日は5人、生き残って参加しています。ここまで前進できたのは世話人の方々のおかげで今日があります。・・・」次は、顧問代表のSさんの音頭で乾杯。「800回、1000回と続きますように。みのハイクの未来に乾杯」くす玉をA子さん。美味しい手作りレモンケーキ・バナナケーキをありがとう。写真の時の手作りの横断幕も素晴らしい。Tさんありがとう。風船で700回という文字を工夫してくださったS子さん。ありがとう。「酒が飲めるぞ」を元気よく歌って閉め。最後に新入会の方の感想。福井県大野市のYさん「大長山、赤兎での印象がよくて入りました。」関市のNさん「3回目です。素晴らしい皆さん、よろしくお願ひします。」郡上のSさん「同じ郡上のKさんの厳正な審査のもと入りました。昭和20年生まれです。」・・・「若い！」のかけ声あり。最後は、世話人代表のHさん「わがクラブも700回。歴史的なことです。仲良く和気藹々で1000回を目指して・・・」そして、楽しい会が終了。

山頂に戻り花木園を散策。ゴヨウマツ、イチイ等の原生林である。「ぎふ百山」の一つに選定され、飛騨三霊山の一つで、飛騨高地で独立峰のように位置し飛騨富士の異称を持つ。もう少し展望台で山々をゆっくり眺めていたかったが、予定時刻になったので山に別れを告げ下山した。下山後は、久々野の切手果樹園に48人も寄り、リンゴを買って帰った。

記録担当 後藤香代子

晩秋の蝶ヶ岳～槍・穂高の展望台～

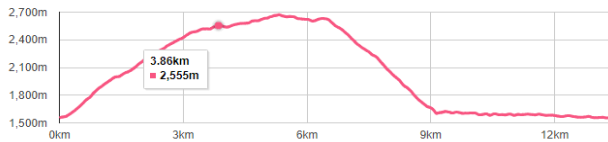
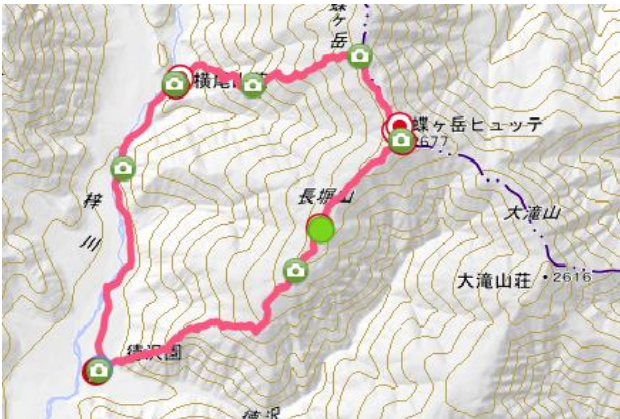
2018年10月27(土) 28(日)

瑞浪山の会：高木雅信(リーダー、記録、食糧)、酒井春海(車)、梅村生一

<コースタイム>-----

(1日目・曇) 上高地 12:20～徳澤 14:10

(2日目・晴) 徳澤 5:35～長堀山 8:40～蝶ヶ岳 9:40/9:55～横尾 12:10/12:25～
徳澤 13:20/14:00～上高地 15:30



距離 時間 日時

昨年、一昨年と続けてこの時期に三俣から蝶ヶ岳に登った。紅葉まっ盛りの安曇野から上がるにつれて季節が進み、稜線に出ると突然目の前に真っ白な槍穂が現れて一気に真冬の景色になる。

今年は上高地の紅葉を愛でてから蝶ヶ岳に登ろうと、徳澤キャンプ場泊で計画したところ2名の同行者があり、宴会付きで山を楽しむことが出来た。

(1日目) 天気予報は、前日の悪天が尾を引いて、午前中は雨と出ていた。そこで出発時刻を遅らせて上高地に着いた頃には雨は上がっていた。バスターミナルで出会った下山して来た登山者には雨具をつけた人も多かった。

紅葉シーズンの上高地とあって混雑を予想していたが悪天との天気予報のせいか人は少なく、駐車場も空いていた。徳澤キャンプ場も数張りのテントしかなく、気兼ねなく早い時間から宴会を始めた。

(2日目) 薄暗いうちに歩き始めた。最初の急登を登り切った辺りになると霜柱が目立つようになり、池には氷が張っていた。曇ってはいたが、空は明るくこの先の晴天を期待させた。オオシラビソの林に邪魔されて山々の展望はない。

2年前の12月に今回と同じ徳澤泊で蝶ヶ岳に登っており、何となくその際の道筋を覚えていて、雪の窪地だったところがこの季節は池になっている。その池を過ぎるとハイマツ帯になり、すぐに稜線、そして隣の槍穂が見えてきた。青空だが、槍穂にだけ雲がかかっている。

ともかく、山頂に立ちしばらく待っていると槍ヶ岳は雲に隠れたり、雲から出たりしている。しかし、いくら待っても穂高岳の雲は取れない。

仕方がないので、蝶ヶ岳ヒュッテを過ぎた先から横尾に下った。稜線からすぐに樹林帯に入るが所々の林の切れ目から正面に槍穂が見える、やっぱり曇ってはいるが。標高のグラフを見るとわかるように横尾への道はひどく急である、そのせいか、すれ

違う多くの人が「山頂までどのくらいですか」と尋ね、残酷な答えを聞くことになる。

この道は横尾小屋のすぐ脇に出る。小屋は冬支度の真っ最中で、危なかしい手つきで雨樋を外す作業をしていた。

ほぼ水平な道を歩いて徳澤に戻り、テント撤収後、上高地まで行きタクシーで沢渡へ、入浴後帰宅した。



<徳澤でキャンプ>



<槍ヶ岳は時々見える>



<横尾小屋は冬支度>



秋山 山行報告【中津川労山】

中津川市内にある標高 1,000m 以上の山 27 座を会山行として登る取り組みを始めました。
その中から秋に登った 4 座と木曾駒ヶ岳の山行記録を紹介します。

■山名 男埴（おだる）山 1,343m

■登山口 中津川市神坂

■山行年月日 2018 年 9 月 12 日

■行程・タイム記録

中津川市役所⇒柳樽林道ゲート⇒登山口⇒ 頂上 ⇒ 登山口 ⇒ 柳樽林道ゲート
7:00 7:45 8:25 10:25-10:45 11:55 12:35

※ 駐車場情報、台数トイレ等：林道ゲート前に駐車する。方向転回できるスペースあり。2 台可能、車高の高い車で行くこと。

- ・林道は大半が地道で所々に凸凹があるので、車高の高い車に入る必要がある。
- ・しばらくは林道を歩く。登山口から尾根までの中間あたりから急な直登の笹藪が続く。滑らないように注意が必要。
- ・急登を登りきると山頂の西に出る。尾根から東へ 15 分ぐらいで三角点のある頂上に到達。
- ・帰りは、テープを確認しながら下る。笹藪は急な下りで、笹を踏みながら下りることになるので、滑らないように注意する。
- ・何処も見晴らしはない。
- ・藪漕ぎ入門コースとも言えよう。
- ・地図、コンパスは必携。

=====
■山名 横川山 1620m・南沢山 1564m

■登山口 富士見台 萬岳荘

■山行年月日 2018 年 10 月 14 日

■行程・タイム記録

中津川市役所 ⇒ 萬岳荘 ⇒ 富士見台 ⇒ 横川名水 ⇒ 横川山 ⇒ 南沢山
7:00 8:15 8:48 9:25 10:20 10:50 発 11:33
⇒ 横川山 ⇒ 横川名水 ⇒ 富士見台 ⇒ 神坂小屋 ⇒ 萬岳荘 ⇒ 中津川市役所
11:58 12:37 13:17 13:25 13:40 14:50

※ 駐車場情報、台数トイレ等：萬岳荘手前 7 台 トイレ萬岳荘

- ・小雨の中、雨具を着て歩き、富士見台で雨が上がった。
- ・笹原の緑と紅葉の始まり黄色・赤が綺麗でした。
- ・御嶽山・南アルプスなど雲にかくれていました。
- ・27 座でお勧め出来るコースだとおもいました。



南沢山頂近くから富士見台・恵那山を望む

■山名 高時山（加子母）1563m ■登山口 木曾越峠

■山行年月日 2018年11月11日

■行程・タイム記録

中津川市役所⇒林道12番観音手前⇒12番観音⇒木曾越峠⇒1434mピーク⇒高時山山頂

6:55 8:00 8:15 8:35 9:13 9:51-10:13

⇒1434mピーク⇒木曾越峠⇒林道12番観音手前⇒加子母道の駅⇒中津川市役所

10:36 11:21 11:47 12:40 13:50

※ 駐車場情報、台数トイレ等：林道待機場場に駐車・トイレはなし

今回林道は木曾越峠下標高1100mを使用した普通車では底を擦る。別に峠まで行ける林道あり。

- ・12番観音横から峠までの急登は途中一箇所、登山道から外れやすい。
- ・登山道は危険箇所はなし。ヒル・猿・熊も出る。
- ・境界線上が登山道になっているため杭・看板を目印に歩く。
- ・登山道は草刈りがしてあり歩きやすい。
- ・山頂の展望は北東から北西（御嶽山から唐塩山まで）は一望。以外は木が邪魔で見えにくい。
- ・加子母から御嶽山参りに使った古道の途中に木曾越峠があります。
- ・古道にはかつて33体の観音様が祭っており、十数体は見つけ出した。木曾越峠には13番観音あり
- ・古道木曾越峠と三十三観音研究会が加子母にあり観音様の保護・発掘がされている様子。



高時山山頂から御嶽山を望む

=====
■山名 尾城山 1133m ■登山口 加子母 番田

■山行年月日 2018年12月11日

■行程・タイム記録

中津川市役所⇒番田⇒ゲート⇒登山道入口⇒林道⇒頂上⇒林道⇒ゲート⇒ふれあいの館⇒中津川市役所

8:00 9:05 9:20 10:50 発 11:30 12:30 13:00-13:20 14:00

※ 駐車場情報、台数トイレ等：林道終点ゲートの駐車スペースは2台くらい。

- ・地図、コンパスは必携。

番田の交差点を左折し加子母中学校の前を通りすぐに左折し林道に沿って上る。すぐに舗装が途切れ砂利道になる。所々大きな窪みがあり、車高の低い車は難儀する。林道の分岐には「尾城山」の標識がある。ゲートから5分で登山道入口。頼りない踏み跡をたどり再び林道に出る。10分ほどで登山道に入り、20分程登ると再び登山道に出る。これを左折し登りやすい箇所を見つけ主稜線を目指す。林道、分岐が多く注意が必要である。林道から登山道（多くは踏み跡程度）に入るポイントが分かりづらい。踏み跡から林道に出たら必ずそこに目印をつけないと帰路で迷う。

■山名 木曾駒ヶ岳(2956m) 上松Aコース

■登山口 敬神の小屋

■山行年月日 2018年9月22～23日

■行程・タイム記録

【1日目】

滑川砂防公園⇒敬神の小屋⇒3合目⇒5合目金懸小屋⇒6合目⇒7合目⇒8合目⇒木曾前岳⇒玉の窪小屋
7:30 7:45 8:08 11:05 12:34 14:08 15:21 17:05 17:20

【2日目】

玉の窪小屋⇒木曾駒ヶ岳⇒玉の窪小屋⇒下山 トラバース⇒8合目⇒5合目金懸小屋⇒敬神の小屋
4:57 5:40 6:20 7:50 9:00 11:20 13:38

※ 駐車場情報、台数トイレ等：滑川砂防公園にはトイレなし 15台ぐらい

- ・金懸小屋手前 20m 木製橋が壊れかけていた。橋を使わず左斜面を迂回した。
- ・金懸水辺りも崩壊、道幅がとても狭い為、滑落注意
- ・金懸水辺りは崩壊していたが、水場は確保されていて水は出ている。
- ・8合目から木曾前岳の間は岩多い。段差に注意。
- ・木曾前岳手前急登はステップの整備中でした。
- ・玉の窪小屋から8合目のトラバースコース。硯石過ぎの沢わたりは頭上からの落石・登山道が崩れ落ちスリップ注意。
- ・台風21号で倒木が多く、登山道をふさいでいた
- ・1日目 雨で出発時間を1時間遅くしたが、雨具を着てゆっくりペースで歩く。
- ・途中、動物の鳴き声が聞こえた。柵の実などが落ちていたので熊と出会って困るので、笛を鳴らしながら登った。
- ・登山者は数人と出会う。昼過ぎからは天候が回復し夕方には夕焼けが見えた。
- ・夜中、強風の音で眠れず朝を迎えた。
- ・2日目 山頂でのご来光を見に出発。途中、名古屋方面の町明かりが綺麗であった。
- ・山頂は多くの人でびっくりしましたが、ご来光と360度の山々を見て感動。
- ・下山は玉の窪小屋から8合目間はトラバースコースを歩いた。
- ・紅葉は始まったばかりで少し黄色くなり、ななかまどの実は赤く色づいていました。
- ・連休中日で天気も良く、多くの登山者とすれ違った。



以上